

人権週間に寄せて～皆さんに謝りたいこと～

校長 橋元 忠史

12月是世界人権宣言が採択された月で、どの学校でも人権週間の取組が行われます。本校でも4日から10日にかけて、児童会を中心に様々な活動に取り組みました。私はこの時期になると、世界の現状を思い、どうしても「子どもたちに謝りたい」という気持ちになります。



子どもたちへー。皆さんが生きている今の世界には、数え切れないほどの人権問題があります。戦争や紛争で、何の罪もない子どもたちの命が奪われていること。子どもが子どもらしく遊んだり学んだりする権利が奪われていること。性別や肌の色、住む地域や障がいのあるなし、信じていることなど、「何かが違う」というだけで差別や攻撃を受けている人がいること。

こんな世界になっているのは皆さんのせいではありません。その現実をつくり、結果として何も変えられずにいるのは、校長先生をはじめとした大人たちです。皆さんには何の罪もありません。だって、皆さんには世界全体を変える力は・・・まだ・・・ないのですから。

でもね。皆さんのまわりを「世界」と考えたら、一つだけ解決できる人権問題があります。それは皆さんの中で起きる「いじめ」です。「いじめ」は“人の嫌がることをしてしまう言動”と言い換えることもできます。初めから「ゼロ」にしようと気負う必要はありません。「今の言い方、良くなかったな」と思ったら、「今の、イヤだったよね」「ごめん、嫌な思いをさせたね」と気付けばいい。立ち止まって謝ることが、大きな成長につながります。「自分は悪くない」と意地を張っても、誰の気持ちも軽くなりません。「私も、ちょっと言いすぎたかも」と相手が心を開いてくれることもあります。そんな優しさの連鎖こそが、“いじめになる前”に問題を解決できたという、お互いの成長の証です。

もし近くに、誰かに何かされて困っている友達がいたら、どうか見て見ぬふりをしないでください。「どうしたの?」「それで本当にいいの?」「〇〇さん、嫌がってない?」と声をかけてみてください。一人で不安なら、周りの友達にも「私はこう思うけど、みんなはどう?」と相談してみてください。そんな人が一人、また一人と増えていったら、皆さんの「世界」はきっと今よりずっと明るく温かくて、そして生きやすい場所になることでしょ。

世界の大きな問題にすぐ手を伸ばすことはできなくても、目の前の「あの子」を大切にすることは今すぐにできます。小さな一歩が、小さな優しさが、確かに「世界」を変えていきます。皆さんのその力を信じています。そして私たち大人もまた、皆さんに胸を張れるよう、主権者としての志を忘れず、よりよい世界になるよう知恵を絞り、諦めずに前を向いて進みます。

【1月の主な行事】

	冬季休業（～7日）		
7日(水)	新一年生入学児童選考諸検査	19日(月)	図書通常貸出開始
8日(木)	後期後半開始 図書返却期間（～14日）	20日(火)	標準学力検査（～28日、1～5年） 新一年生入学児童抽選、入学説明会 ※児童休み
13日(火)	入学選考準備短縮午前授業（～19日） 鹿児島学力・学習状況調査（～23日、5年）	21日(水)	校内給食週間（～27日）
14日(水)	図書返却完了日	27日(火)	PTA 理事会、PTA 役員選考委員会 観劇会（6年）
16日(金)	複式学級入学抽選 附属幼稚園入学抽選	28日(水)	個別の教育相談（～2月5日）

さわやかランニングフェスティバルを開催しました

12月3日（水）と10日（水）に、低学年・中学年・高学年ごとに「さわやかランニングフェスティバル」を開催しました。「さわやかランニングフェスティバル」のねらいは、自己の体力に応じたペースで走る活動を通して、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりするとともに、「もっと体を動かしたい。」「自分の記録に挑戦したい。」という体力向上の継続的な取組への意欲をもてるようにすることです。今年度から、自分の記録を更新することに重きをおいたレースランコースと、走る楽しさを実感することに重きをおいたファンランコースの2つのコースを設定し、子どもたちが自分で出場するコースを選択できるようにしました。当日に向けて、朝のランニングに自主的に挑戦したり、目標をもって試走に取り組んだりする姿が多く見られました。以下、ランニングフェスティバルを終えた子どもの感想の一部です。さわやかランニングフェスティバルを通して、走る喜びを実感したり、新たな気付きについて自覚したりできたようです。



【レースランに取り組む中学年の子どもたち】

- ・ 家族や先生の応援する声を聞きながら走ると力がわいてきて、走るのが楽しかった。【1年生】
- ・ 今年はファンランに参加したが、レースランに取り組む友達の姿を見て、来年はレースランに挑戦したくなった。急には速くは走れないと思うので、今から少しずつ体力をつけたい。【3年生】
- ・ 2つのコースを自分で選択できるというのが、とてもよかった。タイムを意識したいのか、楽しむことを大切にしたいのかといった、走ることに對する自分の向き合い方を自覚できた。【6年生】

教育相談（希望者）を実施しました

今月は、希望者を対象とした教育相談を実施しました。学校職員にとっても、子どものことをよく理解できる貴重な機会となっています。ご多用にも関わらず、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。子どもの健やかな成長や学びにおいては、学校職員と保護者、子どもの三者が意思疎通や情報共有を図ることが大切だと考えます。お子様のことで何か伝えたいことや相談したいことがありましたら、教育相談期間ではなくとも職員にご連絡ください。

新年を迎える準備 ～ちからの会 門松づくり～

12月13日（土）に、ちからの会の保護者の皆様と職員で門松作りを行いました。当日は多くの方にご参加いただき、門松作りだけでなく、敷地内外の落ち葉の清掃などもしていただきました。門松には、そこで生活する方々の健やかな成長や健康、繁栄を願うことや一年の幸福を願うといった意味があるそうです。当日の門松づくりでは、互いに協働しながら、会話をしんだり親睦を図ったりする素敵な機会となりました。



【完成した門松とちからの会の皆様】

ちからの会の方々が楽しみながら一生懸命、丁寧に作って下さった門松の様子を見てみると、「来年も附属小学校にたくさんよいことが訪れてきそうだな。」と思えてきます。学校にお立ち寄りの際は、正門に設置された立派な門松を是非ご覧下さい。ちからの会の皆様のおかげで、附属小学校も新年を迎えるよい準備ができました。また、ちからの会の皆様には、美化作業や運動会での校内巡視、交通整理等、学校に泊まろう会等でも協力をいただいています。いつもありがとうございます。